

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

| | | | | |
|-----------|---|--|-----------------------------------|---|
| | | 作成年月日 | 平成17年12月1日 | |
| | | 作成部署 | 丹後広域振興局農林整備室 | |
| 事業名 | 緑のふるさと林道建設事業 | 構想番号 | (農・丹)構17-1 | |
| | | 地区名 | 京丹後市大宮町大内峠(府道) ～京丹後市大宮町水戸谷(国道) | |
| 概算事業費 | 1,777百万円 | 事業期間 | 平成8年度～平成22年度 | |
| 事業概要 | 丹後縦貫林道と国道312号を結び、森林の多面的機能の発揮、地域の林業振興、沿線の自然や景観を活用した森林レクリエーションと観光の推進による地域活性化を目的とし、大型車の通行を可能にする丹後縦貫林道リフレッシュ事業と同規格で、一体的に整備する林道奥寄線を新設する。 | | | |
| 関連する公共事業 | 丹後縦貫林道リフレッシュ事業 | | | |
| ガイドライン | | 施工地の環境特性と目標 | | 環境配慮・環境創造のための措置内容 |
| 主要な評価の視点 | | | | 環境評価 |
| 地球環境・自然環境 | <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・京都府レッドデータブック掲載の猛禽類「絶滅が危惧される野生生物」の生息地が確認されたため、自然環境の改変や工事による生殖活動への影響を極力抑える必要がある。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・地形の改変面積を少なくし、自然環境への影響を抑えるため2車線整備から1.5車線的整備へと規模を縮小する。 ・モニタリング調査を実施し、猛禽類の生殖行動に応じた工期設定を行い、繁殖期は工事を行わない。 |
| 生活環境 | <ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域の地質は花崗岩の風化した脆弱なマサ土地帯であり、野田川町、岩滝町の住宅密集地の上部では地形が急峻である。また、簡易水道の水源地もあることから災害の発生や水質変化の可能性があり、十分な配慮が必要である。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・当初計画のルート変更を行うことにより集落直上部の通過を避けるとともに、集落方面や水源地に排水を流さないため、水系、水質に配慮した排水措置を講じる。また、排水施設の流末を既存の水路等まで導くことにより、排水による土砂浸食を防止する。 ・林道整備により森林整備が促進され、公益的機能が高度に発揮される。 |
| 地域個性・文化環境 | <ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・施行地は日本三景の一つ天橋立を望む阿蘇海に面し、また与謝方面から丹後半島に向かう際には丹後半島の玄關的景観となる山並みを構成しており、これらの影響に対して十分な配慮を行う必要がある。 ・地域への影響を考慮し、地域住民の意見を反映する必要がある。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・遠望から林道の見える区間を極力少なくするとともに、稜線付近を通過する箇所からは阿蘇海、加悦谷方面の新たな景観を創造する。 ・地域懇談会の開催等により、住民の意見を反映した整備計画を検討する。 |
| 地域の環境像 | <p>施行地及びその周辺は天橋立の背景の山並みであり、歴史的、文化的な景観を構成しているとともに、施行地周辺、一字観公園や成相寺等から、天橋立、阿蘇海を望む景観がある。また、生態系の頂点に位置する猛禽類の生息地であり、豊かな自然環境が保持されている。</p> <p>事業の実施に際して、学識者や地域住民から構成する「丹後縦貫林道整備計画検討委員会」を設置して、府民の意見を聞き、住民参加による計画検討を行い、環境、景観への影響を配慮しつつ、災害に強い林道作りを目指し、地域の振興に寄与する。</p> | | | |
| 特記事項 | なし | | | |

「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善、中立、悪化×)